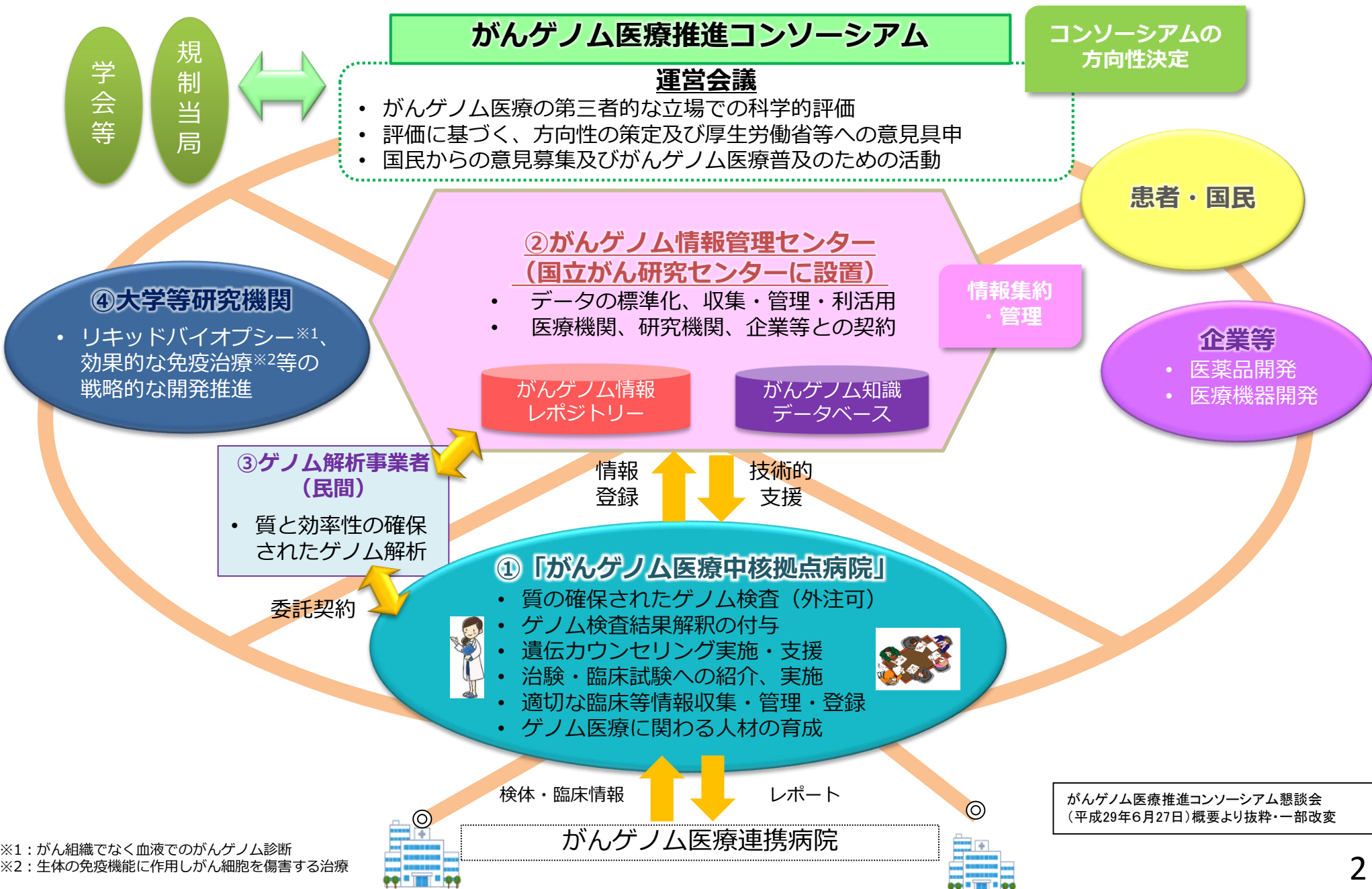


第1回 がんゲノム医療推進コンソーシアム運営会議
平成30年8月1日

がんゲノム医療推進に向けた取組

厚生労働省

がんゲノム医療推進コンソーシアムの体制と役割



※1：がん組織でなく血液でのがんゲノム診断
※2：生体の免疫機能に作用しがん細胞を傷害する治療

がんゲノム医療実用化に向けた工程表

がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会（平成29年6月27日）概要より抜粋・一部改変

	2017年度	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4月～
がんゲノム医療推進 コンソーシアム運営会議			第1回 (8月)	継続して実施		継続して実施				継続して実施				
がんゲノム医療中核 拠点病院 等	中核拠点 病院指定 (2月) 連携病院公表 (3月)		連携病院追加 申請	実施施設の拡大		実施施設の拡大				実施施設の拡大				
ゲノム検査や 医薬品の承認・ 保険適用	先進医療における パネル検査の位置 づけの検討	パネル検査を活用した 新たな先進医療の実施（中核拠点病院等） 実施状況 NCCオンコパネル（4月より開始） 東大オンコパネル（8月より開始） 阪大・Oncomine（10月より開始）			薬事承認され たパネル検査 の保険収載	新たな先進医療の実施								
	医薬品の医師主導治験・先進医療等の推進													
	申請に応じた条件付き早期承認の活用による医薬品の適応拡大、全ゲノム検査の位置づけ等の検討等													
がんゲノム 情報管理 センター	稼働準備	開設 (6月)	がんゲノム情報管理センター稼働											
	プロトタイプの構築等			がんゲノム知識デー タベースの構築		がんゲノム知識データベース機能拡張								
				がんゲノム情報レ ポジトリの構築	がんゲノム情報レポジトリへのデータ集積									
研究 開発 推進	全ゲノム解析の技術開発と体制強化										がんゲノム情報管理センターでゲノム情報や臨床情報を集約・整備し、産学官の研究者による革新的医薬品や診断技術などの開発推進に貢献			
	効果的な免疫療法・リキッドバイオプシー等の開発推進													
	治験等ポータルサイト（治験情報等の一元化を段階的に整備）													

がんゲノム医療推進に向けた取組(要点)

1. パネル検査の実用化

遺伝子パネル検査等※は、結果の解釈に専門的な知見が必要となることから、一定の要件を満たす医療機関(がんゲノム医療中核拠点病院等)において提供する。また、人材育成等を推進し、上記医療機関を段階的に拡大する。

2. ゲノム情報等の集約

日本人に最適化されたゲノム医療を提供するとともに、創薬・個別化医療開発等を推進するために、保険診療下で行う遺伝子パネル検査等のゲノム情報、臨床情報は、がんゲノム情報管理センターへの登録を義務づける。

3. ゲノム検査に基づく治療の推進

ゲノム検査に基づく治療を推進するため、がんゲノム医療中核拠点病院等における医薬品の医師主導治験・先進医療等の推進や、申請に応じた条件付き早期承認の活用による医薬品の適応拡大を図る。

4. さらにがんゲノム医療の発展

全ゲノム解析等の研究開発を推進し、さらにがんゲノム医療の発展を目指す。

※既存の治療薬の選択(コンパニオン診断)だけでなく、広く治療に係る医学的判断に資するゲノム検査